

院長は主として入念な義歯治療、 副院長は精細な歯科治療を担当



部分入れ歯が入っていることが気付かれない(保険適用外診療)



理事長・院長 金森 敏和

1974年北大歯学部卒業、80年北大大学院修了。81年北大歯学部付属病院特殊歯科治療部講師。82年岩手医大歯学部歯科補綴学第1講座助教授。89年苫小牧市で開業。91年医療法人社団かなもり歯科医院設立。日本補綴歯科学会専門医・指導医。日本顎(かく)関節学会専門医・指導医。日本顎咬合学会かみ合わせ指導医。日本歯科先端技術研究所(厚労省認可公益社団法人)口腔インプラントフェロー認証医、歯科エックス線優良医(日本歯科放射線学会認定)。歯学博士。



副院長 金森 敏英

2004年北大工学部社会工学系卒業、11年北大歯学部卒業、12年北大病院高次口腔医療センター顎関節治療部門にて研修。歯科エックス線優良医(日本歯科放射線学会認定)。

歯科医師として40年以上のキャリアがあり、臨床経験も豊富で修練された技量を持つ院長と、母校の後輩でもあり新進気鋭の努力家である長男の副院長。医療従事者も患者として多数訪れており、かなもり歯科医院の評価の高さを裏付けている。

数年前、日本補綴(ほてつ)歯科学会のノンメタルクラスプ義歯エキスパートパネラーに道内開業歯科医として唯一選ばれた実績のある院長。「患者さんのご期待に応えようと日々、『患者さんの入れ歯をいかに精巧に作るか』を念頭に考え、就寝中に夢に見るほど。義歯(入れ歯)作りは患者さんと共に時間を掛けて取り組んでいます」と、義歯治療へほとばしる情熱を語る。

それは近年、超高齢社会となり、義歯の重要性が以前にも増してクローズアップされているためだ。「私の作った入れ歯に満足して頂ける方が多いのはうれしいのですが、中には残念ながら不満を訴える方もいらつしやいます。入れ歯は実にデリケートなもの。治療する側、治療される側、双方の相性も非常に重要なポイントになります」と語る。

その上で、インプラントやブリッジは「後戻りのできない治療法」と院長。対照的に、入れ歯は「やり直しの効く、可逆的な治療法。それが

入れ歯の良いところ。しかも、現在は口元に金具が見えない、審美性に優れた当院独自の義歯もあります」とPR。大病院と同じような丁寧な手法で教科書通りに義歯治療を行っており、それが患者さんに同院を選ばせる理由にもなっている。

院長は昭和の末期に北大、岩手医大で2人の義歯学巨匠の下で研鑽を積んだ。「おふた方とも日本補綴歯科学会の会長として、研究だけでなく治療技術も極めて優れた教授でした。若いときに師事したことが今の自分の基盤となっています」と振り返る。「両師匠のお教えを金科玉条としつつも、アップデートしたメソッドを目指しています」。

現在は院長が主として「補綴治療」に専念する一方、副院長は歯を削ったり詰めたり、歯の根の中の治療など精細な「保存治療」に注力。外科手術用の拡大鏡(ルーペ)を駆使して診療現場に立ち、昨年、今年と北海道歯科学術大会において「根管治療法について」連続して発表。院長も同学会で6年連続義歯治療について発表。今年も2人揃って受験し歯科エックス線優良医(日本歯科放射線学会認定)を取得。親子のあ・うんの呼吸で今日も治療に当たる。

歯科・矯正歯科

歯科・小児歯科・歯科口腔外科

医療法人社団

かなもり歯科医院

苫小牧市三光町2丁目23番6号 ☎(0144)34-8888
ホームページ <http://www.toma-kanamori-shika.jp>

診療時間/
平日/9:00~12:30 14:00~18:30
(受付は18:00まで)
土曜/9:00~13:15
(受付は13:00まで)
休診日/日・祝日

